

放射線治療科に、骨軟部腫瘍にて過去に通院された患者さんまたはご家族の方
へ
(臨床研究に関する情報公開文書)

北海道がんセンターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さんの過去の記録や保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日 文部科学省・厚生労働省・経済産業省制定、令和4年3月10日一部改正、令和5年3月27日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。この研究は、北海道がんセンター倫理審査委員会で承認され、当院の院長より実施の許可を得ております。

[研究課題名]

骨軟部腫瘍における術前照射と術後照射の比較：骨折リスク、照射線量、照射体積、年齢、局所制御、および生存率の解析

[研究機関名・長の氏名]

北海道がんセンター 院長 平賀 博明

[研究代表者名・所属]

北海道がんセンター 放射線治療科 役職名 医師 名前 湊川英樹

[研究の目的]

本研究の目的は、骨軟部腫瘍に対する術前照射と術後照射の骨折リスク、局所制御および生存率を比較し、照射線量、照射体積、年齢その他の要因がそれらに与える影響を明らかにすることです。

[研究の方法]

○対象となる患者さんは、当院で2010年4月1日～2024年3月31日までに骨軟部腫瘍の手術前後に、放射線治療（術前照射または術後照射）を受けた患者さん。

○利用する検体・カルテ情報

検体：ありません。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、生活歴、治療歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理組織診断、他）後治療、放射線治療情報の詳細、予後、再発状況など

本研究で新たに試料を採取したり使用したりする予定はありません。

○具体的な研究内容

骨軟部腫瘍は希少な悪性腫瘍であり、治療には外科的切除、化学療法、放射線治療などが用いられます。放射線治療は、腫瘍の縮小や局所制御を目的とし、主に術前（neoadjuvant）および術後（adjuvant）に行われます。しかし、どちらのタイミングがより効果的かについては未だに議論が続いており明確な結論は出ていません。特に、骨折リスクや局所制御、生存率に対す

2024年4月1日（第1.0版）

る影響はどちらの照射タイミングがよいのかを検討するうえで重要な要因です。先行研究では、術前照射は創部合併症が多い一方で、術後照射は骨折リスクが高い可能性が示唆されています。本研究では、骨軟部腫瘍の手術前後で放射線治療を受けた患者さんのデータを、照射線量、照射体積、年齢などを中心に解析し、これらの要素が、骨折リスク・局所制御および生存率にあたる影響を解析します。診療情報は診療録および、実施した放射線治療計画より収集します。

○研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

○個人情報の取り扱いについて

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など患者さん個人を直ちに特定できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にもあなたのプライバシーは厳重に保護され、あなたの氏名や病名などが他に知られることは絶対にありません。

[研究実施期間]

2024年6月（倫理審査委員会による実施許可日）～2025年3月31日

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は2025年12月31日までに以下にご連絡ください。ご連絡がなかった場合、ご了承いただいたものといたします。ご了解されない場合でも不利益を受けることはありません。なお、すでに解析に使用された情報は研究データから情報を削除できない場合がございますので、ご了承ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道がんセンター 放射線治療科

担当医師：__湊川英樹_____

住所：〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3番54号

電話：011-811-9111

FAX：011-832-0652